

平成21年第11回県教育委員会会議

教 育 長 報 告

1 報 告 事 項

平成21年第4回沖縄県議会(6月定例会)における質問・答弁概要について

2 事 項 の 説 明

- 平成21年6月16日に開会した平成21年第4回沖縄県議会(6月定例会)における代表質問、一般質問において、主に次のような質問があった。

主な質問事項

- (1) 「子ども理解のための指導・支援カルテ」問題について：佐喜真淳、仲村未央、比嘉京子、嘉陽宗儀、新垣清涼、渡嘉敷喜代子
- (2) 児童生徒の薬物乱用防止対策について：当銘勝雄、金城勉、新垣清涼
- (3) 進級規定の内規見直し問題について：奥平一夫
- (4) 学力向上対策の今後の取組について：嘉陽宗儀、嶺井光
- (5) 秋田県の学力向上や教職員多忙化解消への取組から学ぶ点について：嘉陽宗儀
- (6) 教職員の勤務実態調査後の改善策及び教師が子供と向き合える環境をつくることについて：嘉陽宗儀、奥平一夫、渡嘉敷喜代子、嶺井光
- (7) 教職員の病気休暇の実態等について：比嘉京子
- (8) 障害者雇用について：佐喜真淳
- (9) 市町村教育委員会への教員人事権等の移譲について：翁長政俊
- (10) 30人学級に係る公約の達成状況と今後の見通しについて：赤嶺昇、嶺井光
- (11) 「ふるさと雇用再生特別基金事業」などを活用した教員の配置について：吉田勝廣
- (12) 主幹教諭の配置状況と効果について：嶺井光
- (13) 教職員評価制度及びILO・ユネスコ「教員の地位に関する勧告」について：前田政明
- (14) 「指導が不適切な教員」の見解と対応について：前田政明
- (15) 栄養教諭の役割と任用計画について：比嘉京子
- (16) 学校給食における地元特産品の割合を増やす取組等について：新垣安弘
- (17) 空手道世界大会の進捗等について：瑞慶覧功、嶺井光
- (18) 沖縄空手殿堂構想について：糸洲朝則
- (19) 全国高校総体の進捗状況と課題及び競技力向上対策について：赤嶺昇、嶺井光
- (20) 高校総体のボクシング競技について：玉城満

- (21) ボクシング会館のリフォーム等について：糸洲朝則
- (22) サッカースタジアム建設について：辻野ヒロ子
- (23) 就学援助の実態について：嶺井光
- (24) 高校授業料の減免制度及び引下げ、無償化について：西銘純恵、比嘉京子、奥平一夫、新垣清涼、前田政明
- (25) 奨学金等による教育費の私的負担軽減について：金城勉、當間盛夫
- (26) 沖縄学生会館の再建について：仲村未央、上里直司、新垣清涼、新里米吉
- (27) 県費留学生について：島袋大
- (28) 「国費海外派遣事業」廃止に係る新聞報道について：前田政明
- (29) へき地における教育の格差について：新垣安弘、新垣清涼
- (30) 八重山圏域中学生の台湾への修学旅行について：瑞慶覧功、辻野ヒロ子
- (31) 高等学校編成整備計画及び南部農林高校と南部工業高校の再編統合について：  
奥平一夫、大城一馬、嶺井光、新垣安弘
- (32) 久米島高校の園芸科の廃止と、特別支援学級の設置について：新垣安弘
- (33) 沖縄ろう学校の単独校としての存続について：赤嶺昇
- (34) 宮古総合実業高校の施設整備及び市道買取りについて：奥平一夫
- (35) 学校の改築等による雇用対策について：西銘純恵
- (36) 「スクール・ニューディール構想」の推進について：金城勉、山内末子、新垣安弘
- (37) PCB適正処理事業について：平良昭一
- (38) 小中高校のクーラー設置状況と補正予算での対応について：上里直司
- (39) 嘉手納高校の防音対策等について：仲村未央
- (40) 海軍病院移設予定地の埋蔵文化財の保全について：嘉陽宗儀、新垣清涼
- (41) 県指定文化財の保全及び戦争で焼失した県民の貴重な文化遺産の復元計画について  
：渡久地修
- (42) 東ヌ窯の保存・修理等について：佐喜真淳、前田政明
- (43) 港川人骨化石及びその出土地の国の文化財指定について：糸洲朝則
- (44) ユネスコ「無形文化遺産」登録推薦について：糸洲朝則
- (45) わらべうたについて：上里直司
- (46) 幼児教育の取組と課題について：當間盛夫、新垣安弘
- (47) 親族間の事件件数から見る教育のあり方について：平良昭一
- (48) 障害のある子供達の教育支援体制の整備について：佐喜真淳、比嘉京子、  
當間盛夫、山内末子、上原章
- (49) 県立高校入試における合格者の決定ミスについて：比嘉京子
- (50) 凡事徹底の取組について：平良昭一
- (51) 図書館行政について：上里直司

- (52) 県立博物館・美術館で作品を非展示としたことについて：比嘉京子、前田政明
- (53) 教育委員会の必要性について：翁長政俊
- (54) 教育委員長の就任後半年間の感想と今後の抱負について：赤嶺昇

このうち、「子ども理解のための指導・支援カルテ」問題について、「児童生徒の薬物乱用防止対策について」、「30人学級に係る公約の達成状況と今後の見通しについて」、「国費海外派遣事業」廃止に係る新聞報道について、「高等学校編成整備計画及び南部農林高校と南部工業高校の再編統合について」、「障害のある子供達の教育支援体制の整備について」の答弁要旨は、以下のとおりである。

(1) 「子ども理解のための指導・支援カルテ」問題について

質問要旨： 指導カルテの今後のあり方について、県教育委員会の基本的な考え方を聞きたい。

答弁要旨： 「指導・支援カルテ」については、個人情報保護条例との整合性、保護者への周知方法等に課題があるとの指摘等を踏まえ、学校・家庭・地域を含む社会全体で児童生徒を育てるとの視点に立ち、もう一度原点に立ち戻り、検討する必要があると考えております。

県教育委員会としましては、外部有識者を交えた検討委員会を設置し、当カルテの意義や必要性、活用のあり方、条例との整合性等について、総合的に検討していただき、その提言を受け対応してまいりたいと考えております。

各市町村においては、それぞれの個人情報保護条例との整合性などについて、慎重な判断や検討がなされているものと理解しておりますが、今後、市町村の求めに応じて、県の検討委員会の提言を参考に、適切に対応していきたいと考えております。

(2) 児童生徒の薬物乱用防止対策について

質問要旨： 公立中学校の大麻など薬物アンケートで、使用を誘った相手が友人・先輩など身近な人たちである。今後どう対策を講じていくか

答弁要旨： 本県の中学生を対象にアンケート調査を実施したところ、薬物に対する認識不足や規範意識の低さ、身近な人から誘われる等の実態が明らかとなり、憂慮すべき事態であると重く受け止めております。

去る6月5日に生徒代表、PTA、県警等関係9団体が一堂に会し、薬物の乱用防止に向けて各関係機関団体が、役割と取組内容を明確にするとともに「薬物乱用防止共同アピール」を宣言いたしました。

その内容は、健やかで夢に満ちた沖縄を築くために、子どもとしては「未来に誇れる自分」を、保護者としては「帰りたくなる家庭」を、地域の大人としては「住みたくなる街」を、教育者としては「行きたくなる学校」をつくっていくこととしております。

県教育委員会としましては、県民総ぐるみで薬物乱用防止運動を展開し、青少年の健全育成を推進してまいります。

(10) 30人学級に係る公約の達成状況と今後の見通しについて

質問要旨： 学力向上のためには少人数指導が必要と考えるが30人以下学級に向けた小学校全学年への取組について聞きたい。

答弁要旨： 30人学級につきましては、きめ細かな指導により、児童一人一人が基本的な生活習慣や社会的規範を身につけ、基礎・基本の学力の定着を図ること等から小学校1・2年生で実施しております。

30人学級につきましては、当面、小学校低学年で実施し、3年生以上の少人数学級については、国の動向や全国の実施状況等を踏まえ、30人学級制度設計検討委員会で研究してまいりたいと考えております。

(29) 「国費海外派遣事業」廃止に係る新聞報道について

質問要旨： 「国費海外派遣事業」廃止について、その経緯と対応について聞きたい。

答弁要旨： 平成9年度より開始した海外派遣事業は、沖縄県国際交流・人材育成財団が、国からの補助を受け実施する、高校生を対象とした「沖縄県高校生米国派遣事業」、大学生・大学院生を対象とした「沖縄県人材育成海外派遣事業」、一般社会人を対象とした「同時通訳者養成事業」の3事業であります。

「沖縄県高校生米国派遣事業」「沖縄県人材育成海外派遣事業」は、事業計画に基づき、平成23年度まで継続される予定と聞いております。

「同時通訳者養成事業」の募集の経緯につきましては、財団からの報告によりますと、1月に募集を開始し、2回の選考試験を経て3月17日に4名の合格者を内定しました。その後、3月末には、国から新規派遣が厳しいとの連絡が入り、

そのことを受けて4月には、事業の継続について要請をしてまいりました。

しかしながら、5月末には国の補助金見直しにより事業終了を伝えられたため、新規派遣は困難と考え、やむなく該当者なしとして受験生に通知したとのことであります。

財団としては、通知後の受験生や県民の反響を踏まえ、改めて検討したところ、これまで選考事務を進めてきたことや、受験生への影響を考慮して、該当者なしを撤回し、本年度に限り、自主財源で4名の合格者を派遣することとしたものであります。

(32) 高等学校編成整備計画及び南部農林高校と南部工業高校の再編統合について

質問要旨： 南部農林高校と南部工業高校の再編統合説明会において、反対の意見も出されたが、今後どのように進めていくのか聞きたい。

答弁要旨： 専門高校は、実社会に生かされる知識や技術の習得を大きな目的としております。

近年、国際化・情報化、経済のグローバル化の進展により、産業構造も多様化し、産業社会や企業から求められる人材の資質・能力は多岐にわたっております。

このような観点から、専門高校に学ぶ生徒は、専門性の習得はもちろんのこと、さまざまな場面で応用できる多様な知識・技術、創造力、職業人としての自立性、豊かな人間性などが求められる時代になってきたと考えております。

南部農林高校と南部工業高校の再編統合については、農業と工業の専門性を維持するとともに、異なる専門分野も総合的に学べる学校を設置し、南部地域の振興に対応した新事業の創出や高度な経営技術に対応できる産業人材の育成を目指しております。

県教育委員会としましては、これまで培ってきた両校の伝統の上に、将来の本県の産業を担う生徒をはぐくむため、引き続きPTA、同窓会、地域住民等の理解を得て、再編統合を推進してまいりたいと考えております。

(49) 障害のある子供達の教育支援体制の整備について

質問要旨： 障害のある子供達に多様な教育支援体制を整備するための取組と課題について聞きたい。

答弁要旨： 障害のある子供たちへの教育支援体制を整備することは、特別支援教育を推進

する上で重要な課題であると考えております。

障害のある子供たちへの教育支援としては、特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室を設置し、体制の整備を図ってまいりました。

また、全ての学校において、特別支援教育に係る校内委員会が設置され、コーディネーターが指名されております。さらに、「特別支援教育理解推進事業」等により、コーディネーターの資質向上やスーパーバイザーの養成、管理職への研修等を実施しているところであります。

県教育委員会としましては、今後とも幼・小・中・高等学校における校内支援体制を整備するとともに、教職員の専門性の向上を図り、特別支援教育の一層の充実に努めてまいります。

○ 文教厚生委員会において、以下の陳情及び所管事務調査事項の審査が行われた。

(1) 陳情審査

・新規陳情 (20件)

陳情	第74号の3	平成21年度「離島・過疎地域振興に関する要望事項」に関する陳情	(採 択)
陳情	第81号	「30人以下学級」の早期実現を求める陳情	(採 択)
陳情	第83号	「国立沖縄青少年交流の家」存続に関する陳情	(採 択)
陳情	第88号の2	沖縄学生会館の閉館に関する陳情	(継続審議)
陳情	第91号	台湾東部と八重山諸島の「観光経済圏」形成推進に向けた課題に関する陳情	(採 択)
陳情	第94号	新学習指導要領理科の実現へ向けての環境整備に関する陳情	(継続審議)
陳情	第95号	沖縄学生会館の再建に関する陳情	(継続審議)
陳情	第97号	命と平和の語り部宮森「630館」設置に関する陳情	(採 択)
陳情	第98号	「30人以下学級完全実現」のための陳情	(採 択)
陳情	第105号	サッカー専用スタジアムの早期建設に関する陳情	(継続審議)
陳情	第106号	県立高等学校編成整備実施計画に関する陳情	(継続審議)
陳情	第110号の2	公私の格差是正と制度等に関する陳情	(継続審議)
陳情	第112号	特別支援教育のさらなる推進に関する陳情	(継続審議)
陳情	第117号	沖縄学生会館の再建を求める陳情	(継続審議)
陳情	第122号の3	県がワーキングプアをなくす先頭に立ち、非正規等の待遇改善を求める陳情	(継続審議)
陳情	第124号	発達障害及び発達障害疑いの「気になる」子供の特別支援教育における支援体制整備に関する陳情	(継続審議)
陳情	第132号	環境教育でEMを活用することに関する陳情	(継続審議)
陳情	第133号	沖縄県の学校施設の地震対策や洪水対策に関する陳情	(継続審議)
陳情	第137号	沖縄県立美術館の「展示拒否問題」に関する陳情	(継続審議)
陳情	第138号	沖縄県立博物館・美術館の大浦信行作品展示拒否事件に関する陳情	(継続審議)

・継続陳情（28件）

陳情平成20年第 35号	石垣市における小学校低学年の30人以下学級の実現を求める陳情	(採 択)
陳情平成20年第 40号	「30人以下学級」の早期実現を求める陳情	(採 択)
陳情平成20年第 50号	沖縄県立図書館八重山分館の存続に関する陳情	(継続審議)
陳情平成20年第 57号	2009年度政府教育予算の拡充を求める意見書の採択に関する陳情	(継続審議)
陳情平成20年第 59号	沖縄県立図書館八重山分館の存続を求める陳情	(継続審議)
陳情平成20年第 63号	サッカー専用スタジアムの早期建設に関する陳情	(継続審議)
陳情平成20年第 64号	「戦争のできる国民づくり」教育に反対する陳情	(継続審議)
陳情平成20年第 66号	沖縄県立図書館八重山分館の存続に関する陳情	(継続審議)
陳情平成20年第 67号	沖縄県立図書館八重山分館廃止に反対する陳情	(継続審議)
陳情平成20年第 82号	沖縄県立図書館八重山分館の存続を求める陳情	(継続審議)
陳情平成20年第 90号	沖縄県立図書館八重山分館の存続を求める陳情	(継続審議)
陳情平成20年第 93号	沖縄県立図書館八重山分館の存続を求める陳情	(継続審議)
陳情平成20年第105号	沖縄県立図書館八重山分館の存続を求める陳情	(継続審議)
陳情平成20年第107号	沖縄県立図書館八重山分館の廃止撤回を求める陳情	(継続審議)
陳情平成20年第110号	沖縄県立図書館八重山分館の存続を求める陳情	(継続審議)
陳情平成20年第112号	友愛スポーツセンター跡利用に関する陳情	(継続審議)
陳情平成20年第124号	「30人以下学級完全実現」を求める陳情	(採 択)
陳情平成20年第125号	「全国学力・学習状況調査」の公表等に関する陳情	(継続審議)
陳情平成20年第137号	サンゴの保護に関する陳情	(継続審議)
陳情平成20年第141号	アメラジアンへの公的支援に関する陳情	(採 択)
陳情平成20年第142号	天然記念物の伐採に関する陳情	(継続審議)
陳情平成20年第175号の2	第58回婦人大会の宣言・決議の実現方に関する陳情	(継続審議)
陳情平成20年第189号	子供たちに行き届いた教育の保障を求める陳情	(継続審議)
陳情平成20年第192号	第60回九州地区地域婦人会及び平成20年度全地婦連九州 ブロック会議の決議に関する陳情	(継続審議)
陳情平成20年第199号	沖縄県教育委員会の職務不履行に関する陳情	(継続審議)
陳 情 第 43号	「人体の不思議展」県立博物館使用の中止を求める陳情	(審議未了)
陳 情 第 57号	学校給食に環境保全型農業で生産された農産物の使用促進 に関する陳情	(継続審議)
陳 情 第 65号	沖縄ろう学校を「単独型の聴覚特別支援学校」として存続を求める陳 情	(継続審議)

(2) 所管事務調査事項

(教育及び学術文化について) 中高一貫校の現状と今後のあり方について

所管事務調査事項の審査については、連携型中高一貫教育校3高等学校(本部・久米島・伊良部)の校長も説明員として出席し、主に次のような質疑が行われた。

質問要旨： 中高一貫教育校の課題として、高等学校の生徒の学習意欲低下が問題となっている。本部においては、高校入試の導入により改善を図りたいとの要望がある。どのように考えているか。

答弁要旨： 学校教育法施行規則により、中高一貫教育校において選抜を目的とした学力検査の導入は困難であります。中高一貫教育を導入した県教育委員会としましては、学校と充分調整し、責任を持って対応してまいります。

○ 米軍基地関係特別委員会において、以下の請願及び陳情の審査が行われた。

新規陳情(1件)

陳情平成21年第96号 実弾射撃訓練による山火事に関する陳情 (採 択)

継続請願・陳情(2件)

請願平成20年第1号 新基地建設に関する請願 (継続審議)

陳情平成20年第89号 普天間飛行場代替施設(新基地)建設事業にかかるアセス手続及び「環境現況調査」並びにキャンプ・シュワブ内における「造成」工事等に関する陳情 (継続審議)

※各委員会で審議された県教育委員会関係議案等の本会議における処理状況

(平成21年7月9日)

甲第1号議案は、全会一致で原案のとおり可決された。

関係陳情の審査の結果は、各委員会委員長の報告のとおり全会一致で決定された。